

北空知地域医療介護確保推進協議会 専門部会事業報告に係る説明資料

- Ⅰ部会「医療・介護情報共有支援部会」 (スライド番号)
- ①北空知地域医療介護連携支援センターホームページの更新 3
 - ②北空知地域入退院支援・調整ルール試行事業の様式 4～5
 - ③ICT活用情報共有ツール導入調査研究に係るデモ説明会開催報告 6
- Ⅱ部会「退院調整・在宅生活支援部会」
- ①北空知地域入退院支援研修会の開催 7～8
 - ②認知症初期集中支援事業事例共有検討会の開催 9～10
 - ③北空知地域医療介護連携支援センター参加事業一覧 17～18
 - ④在宅医療・介護に関するアンケート調査報告書 別冊「資料3」
- Ⅲ部会「多職種連携・地域啓発部会」
- ①在宅医療・介護を考える北空知住民フォーラム in 妹背牛の開催 11
 - ②地域包括ケアに携わる多職種合同研修会の開催 12
 - ③北空知地域リハビリテーション活動支援事業の概要 13～16

平成30年度 北空知地域医療介護確保推進協議会 各種研修事業等

開催日・場所	事業名	内 容
9月21日(金) 16:30～19:00 北竜町	第1回 認知症初期集中支援事業事例共有検討会	認知症初期集中支援事業に係る関係市町及び関係機関の専門職等による学習会。第1回は、北竜町の初期集中支援チームの事例を共有検討。 参加者23名
9月28日(金) 18:15～20:00 深川市立病院	第1回 入退院支援研修会	入退院支援調整に係る病院・介護・福祉関係者の連携を深める研修会。第1回は、病院・看護師からの事例をグループワークにより検討。今年度から北空知地域入退院支援・調整ルールの普及促進に取り組む。 参加者103名
10月20日(土) 13:30～16:00 妹背牛町	在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラムin妹背牛	在宅医療と介護について地域住民に考えてもらう地域啓発事業。関係市町持ち回りで、講演会や研修会など地域の实情に応じて企画。今年度は妹背牛町で開催、講師は北星学園大学の杉岡直人先生。 参加者97名
10月31日(水) 18:00～21:30 プラザホテル板倉	地域包括ケアに携わる多職種合同研修会	地域包括ケアに携わる関係者の交流研修会。今年度は顔の見える多職種連携ツール「ケア・カフェ」を学び体験交流(意見交換) 講師は「ケア・カフェ」の手法を開発したケア・カフェジャパン代表の阿部泰之先生(旭川医科大学病院医師)。研修会終了後、飲みニケーション交流会を開催。事業は北空知介護支援専門員連絡協議会との共催で実施。 参加者121名、交流会46名
11月30日(金) 18:15～19:50 深川市立病院	第2回 入退院支援研修会	入退院支援調整に係る病院・介護・福祉関係者の連携を深める研修会。第2回は、地域・ケアマネジャーからの事例をグループワークにより検討。 参加者83名
2月1日(金) 18:00～19:40 深川市	地域リハ活動支援事業事例共有検討会	居宅介護支援専門員スキルアップ研修会として、地域リハビリテーション活動支援事業3年間の成果と課題を報告し、事例をグループワークで共有検討。事業は北空知介護支援専門員連絡協議会との共催で実施。 参加者29名
2月8日(金) 18:00～19:40 深川市	第2回 認知症初期集中支援事業事例共有検討会	認知症初期集中支援事業に係る関係市町及び関係機関の専門職等による学習会。第2回は、深川市の初期集中支援チームの事例を共有検討。 参加者26名
2月18日(月) 18:00～19:40 深川市	多職種連携ツール導入調査研究会	ICTを活用した多職種連携(地域連携)ツールの導入について、システム提供事業者の提案を聞く調査研究会を開催。 参加者21名

医療・介護資源等のガイドのほか、研修会等の案内や各種事業の報告の掲載など、ホームページを23回更新しました。



「医療や介護が必要になっても住みなれた自宅や地域で自分らしく暮らしたい。」
~その想いをかなえるために支援を行います~

北空知地域医療介護連携支援センターは、北空知1市4町（深川市、沼田町、妹背牛町、秩父別町、北竜町）にお住まいの皆様が、医療や介護が必要な状態になっても、できる限り住み慣れたご自宅や地域で安心して生活を継続できるように、地域医療及び介護サービスの総合的な提供体制の確保やその充実にむけ様々なサポートを行います。

各市町の地域包括支援センターと連携し、北空知1市4町にお住まいの皆様の在宅医療や介護でのお困りごとの相談もお受けしますので、お気軽にご相談ください。

妹背牛町 地域包括支援センター
秩父別町 地域包括支援センター
北竜町 地域包括支援センター
沼田町 地域包括支援センター
深川市 地域包括支援センター

お知らせ・ニュース

- 2019年 03月20日 水曜日 [地域包括ケアシステム構築に向けた多職種合同研修（北海道主催）で北空知の取組を紹介しました](#)
- 2019年 03月20日 水曜日 [在宅医療・介護に関するアンケート調査の結果を取りまとめました](#)
- 2019年 03月20日 水曜日 [北空知薬局ガイドを公開しました](#)
- 2019年 03月20日 水曜日 [北空知歯科診療所ガイドを公開しました](#)
- 2019年 03月20日 水曜日 [北空知診療所ガイドを公開しました](#)
- 2019年 03月20日 水曜日 [北空知病院ガイドを公開しました](#)
- 2019年 02月05日 火曜日 [北空知地域入退院支援研修会の開催報告](#)
- 2019年 02月05日 火曜日 [地域包括ケアに携わる多職種合同研修会 兼 第54回北空知介護支援専門員連絡協議会研修会開催報告](#)
- 2019年 02月05日 火曜日 [在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラムin妹背牛開催報告](#)

- 2018年 09月19日 水曜日 [地域包括ケアに携わる多職種合同研修会 兼 第54回北空知介護支援専門員連絡協議会研修会のご案内](#)
- 2018年 09月19日 水曜日 [在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラムin妹背牛のご案内](#)
- 2018年 09月04日 火曜日 [協議会各種研修事業等の平成30年度の実施予定をお知らせします](#)
- 2018年 09月04日 火曜日 [北空知地域入退院支援・調整ルールの普及促進に取り組みます](#)
- 2018年 07月31日 火曜日 [北空知地域医療介護確保推進協議会専門部会を更新しました](#)
- 2018年 07月31日 火曜日 [北空知地域医療介護確保推進協議会運営会議を更新しました](#)
- 2018年 07月31日 火曜日 [北空知地域医療介護確保推進協議会開催状況を公開しました](#)
- 2018年 07月31日 火曜日 [北空知地域医療介護確保推進協議会委員名簿を更新しました](#)
- 2018年 07月31日 火曜日 [北空知地域医療介護連携支援センタースタッフ一覧を更新しました](#)
- 2018年 07月31日 火曜日 [「地域住民向けパンフレット～住み慣れたまちで安心して暮らすために～」を公開しました](#)
- 2018年 07月31日 火曜日 [地域包括ケアに携わる多職種合同研修会 兼 第50回北空知介護支援専門員連絡協議会研修会開催報告に関連書類を追加しました](#)
- 2018年 07月31日 火曜日 [在宅療養を考える北空知地域住民フォーラム開催報告に関連書類を追加しました](#)
- 2018年 07月03日 火曜日 [北空知介護保険サービス事業所ガイドに地図情報を追加しました](#)
- 2018年 06月05日 火曜日 [北空知介護保険サービス事業所ガイドを更新しました](#)
- 2017年 12月26日 火曜日 [在宅療養を考える北空知地域住民フォーラム開催報告](#)
- 2017年 11月16日 木曜日 [在宅療養を考える北空知地域住民フォーラムのご案内](#)
- 2017年 11月16日 木曜日 [地域包括ケアに携わる多職種合同研修会 兼 第50回北空知介護支援専門員連絡協議会研修会開催報告](#)
- 2017年 09月05日 火曜日 [地域包括ケアに携わる多職種合同研修会 兼 第50回北空知介護支援専門員連絡協議会研修会のご案内](#)
- 2016年 12月12日 月曜日 [北空知地域医療介護確保推進のための多職種合同研修会及び合同研修交流会開催報告](#)
- 2016年 10月13日 木曜日 [北空知地域医療介護確保推進のための多職種合同研修会及び合同研修交流会のご案内](#)
- 2016年 09月27日 火曜日 [サイトをオープンしました](#)

○ 一覧を見る



センターについて



北空知地域医療介護確保推進協議会



各種会議の報告

「北空知地域入退院支援・調整ルール」試行事業 H29年度に検討、30年8月から実施

北空知地域入退院支援・調整ルール版

(様式2)

(様式1)

救急あんしんカード (平成 年 月 日作成)

この情報は、医療のために救急隊と搬送先医療機関が活用するとともに、介護保険サービスのために、入院先医療機関と介護支援専門員等が活用します。

様

利用者・ご家族の方へ 担当ケアマネジャーから「5つのお願い」

利用者の方に、切れ目のないケアサービスを提供し、安心した療養生活を送って頂くために、担当ケアマネジャーから、以下の点についてお願い致します。

もしも、利用者さまが入院された場合は・・・、

- ① 病院へは「保険証/お薬手帳/介護保険証/救急あんしんカード」を持参して下さい
- ② 急な入院の場合、出来るだけ早く、担当ケアマネジャーに連絡を下さい
また、あらかじめ入院の予定が決まっている場合は、事前にお知らせ下さい
- ③ 病院へは「担当ケアマネジャー」がいることをお知らせ下さい
(担当ケアマネジャーの「氏名」や「連絡先」など)

病院から何か説明があった場合は・・・、

- ④ 利用者さまが退院後、すみやかに自宅での療養生活が始められるよう準備を進めるために、「今、どんな状況か」を早めに知りたいので、病院からの説明内容は担当ケアマネジャーにも教えて下さい
(特に、「病状」や「退院のめど」)

家に帰る準備をするために、病院にお願いして欲しいこと

- ⑤ 退院のめどが見えてきたら、担当ケアマネジャーを病院へ呼んで下さるように、ご家族からも病院にお願いして下さい

(名刺を貼るか下記の事項を記入しましょう!)

事業所名：
()

担当ケアマネジャー名：
()

連絡先：
()

フリガナ		生年 月日	(明・大・昭・平) 年 月 日生	1.総合支援事業	
氏名	(男・女)			2.要支援 (I・II)	
				3.要介護 (I・II・III・IV・V)	
住所	〒	自宅 電話		携帯 電話	

緊急連絡先	名前	続柄	住所	自宅電話	携帯電話	職場電話

かかりつけ	施設名・事業所名 市町名・保健所名	診療科及び主治医名 ケアマネジャー名・保健師名	電話
病院 医 院			
薬 局			
介護支援事業所			
担当保健師			

治療中の病名		ふ だ ん 飲 ん で い る 薬
手術した病気 (時期、病院名)		
アレルギー (薬・食物)		
特記事項 (あてはまる □に ☑を)	<input type="checkbox"/> 糖尿病です <input type="checkbox"/> エピペンを持っています <input type="checkbox"/> 人工透析をしています <input type="checkbox"/> 血が固まりにくくなる薬を飲んでます <input type="checkbox"/> その他 (他の病気、家族の事情など) <input type="checkbox"/>	
		※薬の説明書をこのカードと一緒に保管しておきましょう

ケアマネ事業所の情報提供様式にない追加情報を記載する方式

(様式3)

※お使いの情報提供様式に記載がない情報については、下記様式に記載して添付してください！

追加してほしい情報提供項目 (ケアマネジャー ⇒ 医療機関)

病院 担当者 様 (記入日: / 入院日:)

利用者(患者)/家族の同意に基づき、利用者情報(身体・生活機能など)の情報を提供します。

担当ケアマネジャー名	電話番号
居宅介護支援事業所名	FAX番号

[担当ケアマネジャーから医療機関の方へお願い]

- 退院が決まり次第、連絡をお願いします
- 退院前訪問指導を実施するときは、同行させてください
- 必要に応じて、退院時の情報提供をお願いします
- その他[]

1. 利用者(患者)基本情報について

ふりがな	生年月日	明・大・昭・平	年	月	日生
患者氏名	年齢	歳	性別	男	女
住所	電話				
住環境(施設も含む)	<input type="checkbox"/> 戸建て <input type="checkbox"/> 集合住宅 () 階 <input type="checkbox"/> エレベーター 有 無 <small>※特記事項(使用している福祉用具や生活上の留意点や住環境で改善が必要なこと、施設の場合は在籍可能な期間)</small>				
入院時の要介護度	<input type="checkbox"/> 要支援() <input type="checkbox"/> 要介護() <input type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 未申請				
利用している介護保険サービスの内容と回数	例) デイサービス ○回/週、訪問看護 ○回/週、訪問介護 ○回/週等				
医学的管理の状況	例) 胃薬・尿カテーテル・O ₂ 等(カテーテル置換日、時間交換日、何cm挿入しているか等)				
認知症状の有無等	認知症状	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 例) 徘徊・せん妄			
	症状	例) 日中眠っていて夜間に			
	出現場面	例) 外に出ないよう施設して落ち着くのを待っている			
対応方法	例) 外に出ないよう施設して落ち着くのを待っている				
その他対応で注意が必要な事項	例) 耳の聞こえが悪いので会話するときは大きな声でゆっくりと話す				

2. 家族の情報について

家族構成 内服管理	<input type="checkbox"/> 独居 <input type="checkbox"/> 同居 <small>(内服管理方法)</small>	シェンogram (男□・女○・本人■◎・同居は●・●:死亡は/線を記載)	キーパーソン(連絡先順位) <small>(氏名・住所・電話番号)</small>
主たる介護者	<small>(氏名・続柄・年齢)</small>		<small>(氏名・住所・電話番号)</small>
金銭的援助者	<small>(氏名・続柄・年齢)</small>		<small>(氏名・住所・電話番号)</small>

(様式3)

3. リハビリに関する本人/家族の意向について(ケアプラン立案時)

自宅で生活を続けるために	例) 排泄が自立、食事が経口で普通食
自立できなければ在宅が困難になる事項	例) ベッドからトイレまで(約5m)の歩行、食事が自立
在宅で困っていること	例) 玄関の段差、トイレでの移乗

4. 入院前のADL

ADL	移動	自立	見守り	一部介助	全介助	身長[]cm	体重[]kg
	移乗	自立	見守り	一部介助	全介助	移動手段	杖 歩行器 車いす その他
	更衣	自立	見守り	一部介助	全介助	例) ベッドからトイレまで(約5m)を杖歩行していた	
	整容	自立	見守り	一部介助	全介助	入浴方法	自宅 デイサービス 訪問入浴 その他
	入浴	自立	見守り	一部介助	全介助	起居動作	自立 見守り 一部介助 全介助
	食事	自立	見守り	一部介助	全介助	例) 主食はごはん茶碗に軽く1杯	
食事摂取困難な方	摂取量	朝: 時頃・昼: 時頃・夜: 時頃				UDF等の食形態区分	
	食事形態	普通 きざみ 嚥下障害食 ミキサー					
	摂取方法	経口 経管栄養 水分とろみ(あり・なし)					

※UDF:ユニバーサルデザインフード。日本介護食品協議会が制定した規格で、「かたさ」や「粘度」の規格により分類された4つの区分を表示している。

区分	第1 容易にかめる	第2 潰くまでつぶせる	第3 舌でつぶせる	第4 かまなくてよい
かむ力の目安	かたいものや大きいものはやや食べづらい	かたいものや大きいものは食べづらい	細かくてやわらかければ食べやすい	固形物は小さくても食べやすい
飲み込む力の目安	普通に飲み込める	ものによっては飲み込みづらいことがある	水やお茶が飲み込みづらいとがある	水やお茶が飲み込みづらい
かたさの目安	ごはん	ごはん-やわらかごはん	やわらかごはん-金がゆ	金がゆ
	さかな	焼き魚	魚	魚のほくし(とろろあんかけ)
	たまご	厚焼き卵	だし巻き卵	スクランブルエッグ
調理例(ごはん)				
物性規格	5×10 ³	5×10 ³	ゾル: 1×10 ⁴ ゲル: 2×10 ⁴	ゾル: 3×10 ⁴ ゲル: 5×10 ⁴
	ゾル: 1500	ゾル: 1500	ゾル: 1500	ゾル: 1500



5. 今後の方向性(暮らす場所や延命処置など話し合ったことがあれば含めて)

本人の希望	例) どこで暮らしたいか(自宅・施設・子と同居・有料老人ホームなど)。口から物が食べられなくなったとき胃瘻や経鼻経管栄養など人工栄養法を受けたいか。(受けたくない医療措置等はあるかなど)
家族の希望	例) 在宅で過ごすために出来るようになってほしいこと。延命処置などについて本人と話し合ったことなど。

ICT活用情報共有ツール導入調査研究に係るデモ説明会開催報告

2月18日(月)18:00~19:40 深川市立病院 2階 中会議室 出席19名

株式会社ワイズマンのシステム「Mell+community」の導入提案の説明を受け、5グループに分かれ担当者の説明を聞きながら端末を操作し機能や使い勝手などを確認し、最後に全体で質疑を行い調査した。

機能・使い勝手	<p>事業所で所有するパソコン、タブレット、スマートフォンの端末で利用可能。移動端末から現場等で記録ができる。</p> <ul style="list-style-type: none">○コメント機能～LINEのような使い勝手で、患者・利用者ごとに多職種の支援者がタイムリーにコメントできる。バイタルデータの入力、褥瘡の状況写真なども投稿できる。住所からグーグルマップで地図表示できる。○関連文書機能～利用者単位で入院時情報連携シートやサービス利用計画などの文書や資料を投稿、ファイリングできる。○掲示板・回覧版機能～研修会の案内や通知文書など、お知らせや連絡事項を一度に連絡できる。閲覧状況も把握できる。○会議室機能 参加者を限定しバーチャルな会議ができる。テーマごとに情報共有が可能。相談窓口としても活用できる。資料も書類の投稿も可能。○メッセージ機能 メールのように相手を指定して連絡・情報交換ができる。
他地域の導入事例	<ul style="list-style-type: none">・青森県八戸市 始まりはクリニックで、NPO法人をつくりネットワークをつくったが、市が補助金を出して公共事業になった。登録事業所180以上となっている。・大分県由布市 由布市地域包括ケア推進協議会(市が事務局)を設け官民一体で導入。独自に「ケアカンファレンスシート」「医療介護連携票」を作成し、「Mell+community」に実装した。独自の取り込みも可能・そのほか事例集に、札幌市の医療法人稲生会の事例を掲載。ホームページにも動画で紹介。上川、空知は導入事例がない。
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none">・パスワード認証は、施設ID、スタッフID、パスワードの3重で管理している。・使用権限も事業所ごとにスタッフのアクセス権を設定できる。操作ログも取得できる。・厚生労働省などの資料情報セキュリティガイドラインに準拠・情報はクラウドで管理、端末にデータは不要。そのため端末の機能はインターネット環境がある最低限のもので済むので、端末購入コストが抑えられる。・この間の大規模災害の実例で、端末や紙書類が破損・紛失しても、クラウドからの復旧可能であった。
導入・維持経費	<ul style="list-style-type: none">・初期導入支援日として、一式180,000円、操作説明会が1回30,000円である。・「Mell+community」の利用料は、1事業所契約で月額1,500円、年額18,000円と安価で持続可能な料金となっている。・30事業所の参加で、操作説明会を4回開催した場合は、初年度は907,200円(税込)で、2年次以降は利用料540,000円(18,000円×30事業所)となる。・操作説明会は20人～30人を対象に必要なに応じて開催。・契約事業所内のアカウントに制限はなく1台でも100台でも利用料は同じ。・機能と仕組みを考えるとかなり安価な価格である。
その他	<ul style="list-style-type: none">・患者・利用者には同意が必要。どのように同意を得るかを地域で決める。導入地域等で同意について問題は聞いていない。患者・利用者にも多職種で支援することを説明し理解を得ている。・どのような患者・利用者を対象にするかも地域で基準を決める必要がある。要介護度で決める例もある。・デモだけでは分からないので、実際に試行してから検討することは可能か。⇒ 想定していないが、検討可能である。・システムのアップデートは自動で行う。

第1回北空知地域入退院支援研修会 9月28日 市立病院 ～療養が必要な住民を支援する支援者の力量アップのために～

会場いっぱい！
1市4町から103名が参加



看護師、ケアマネ、薬剤師、保健師、リ
看護師、ケアマネ、薬剤師、保健師、リ
ハ職、相談員、ヘルパーなど、多職種で
グループ検討

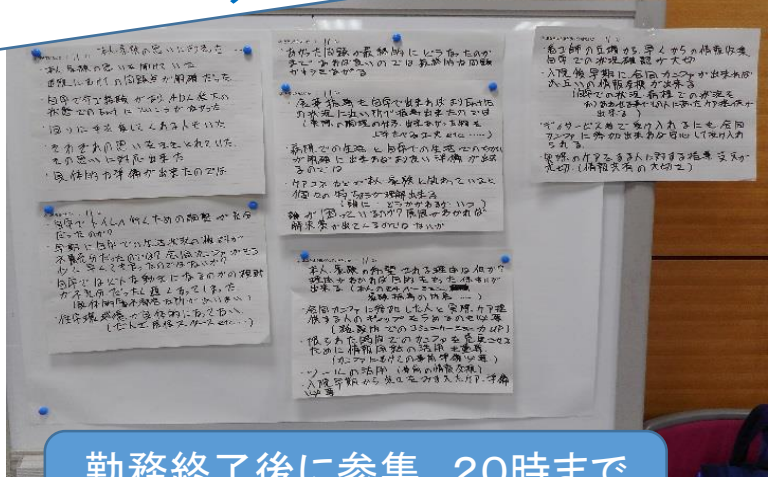
事例「地域包括病棟から在宅へ
～退院支援を振り返る～」
紹介は飯尾さん、安立さん



2G発表：山口さん



入退院支援・調整ルールを
説明する今田さん



勤務終了後に参集 20時まで
熱気あふれる研修会でした

第2回北空知地域入退院支援研修会 11月30日 市立病院

- ・ 11月30日(金) 18:15~19:50 ・ 深川市立病院 2階会議室
- ・ 参加者 82名 (看護職34名、介護支援専門員28名、MSW・SW・相談員7名、リハビリ職1名、保健師8名、ヘルパー1名、事務職3名)
- ・ 研修目的 医療関係者と地域支援関係者が連携して入退院支援を進めていく関係を築く
- ・ 研修目標 ①北空知地域の支援関係者が本人や家庭の思いに添った入退院支援ができるようになる
②入退院支援をしていく上で、医療関係者と地域支援関係者がタイムリーな情報交換ができるようになる

事例紹介

「在宅環境に問題のある方の在宅復帰」

「ゴミで溢れている」「お風呂がない」
「ガスがない」「買物にいけない」
「家族の協力もない」

このような状況の方を
食事、衛生、健康、環境の面から
どのような支援をしますか

GWは各テーブル5人、
15グループで実施

事例紹介はケアマネ
の夏井さん



グループ発表はインタビュー形式で
話し合いの1例を紹介、スタッフが
板書し共有しました。



話し合った事を模
造紙に自由に記載

9G

- (1) タイムリーな情報共有について
・ 入院中に既に共有はできていたと思いが、退院して本人同意もとる事ができたかな... 外泊等で住居の整理
・ 本人家族の意向確認できていた
・ 本人の生活状況は、入院時点で把握できていたのは早い!!
- (2) 移行支援について
・ 本人家族の意向の妥当性の判断がむづかしい
・ 退院時点で「移行支援の目的がたつていなかった。
・ 家族(長男)の取り込みが必要
・ 再発の可能性と予防
・ 経済的問題
- (3) 必要な支援
・ 配食サービス 安否確認
・ 在宅復帰を目指すための施設利用
・ デイサービスでの入浴機会確保

多職種、様々な意見を聞いて勉強になった。
困難事例検討はとても勉強になった。

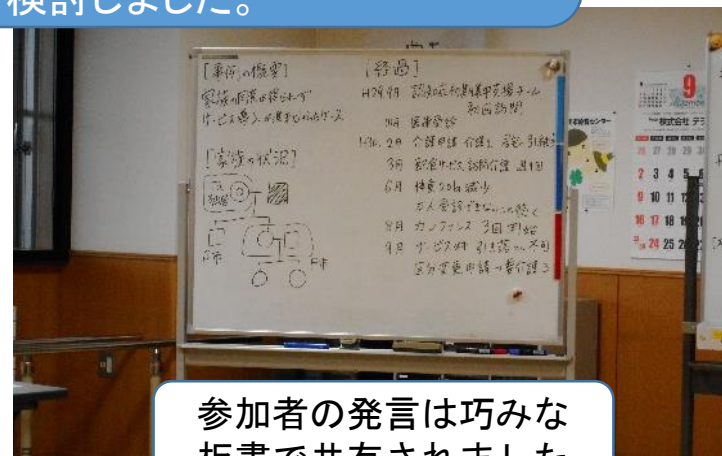
本人の在宅の代わりに、家? 自由?
・ 自由な生活を希望しているなら、自由を確保できる施設も提案できる。
・ 長男以外のキーパーソン(知人、友人)

第1回 認知症初期集中支援事業事例検討会

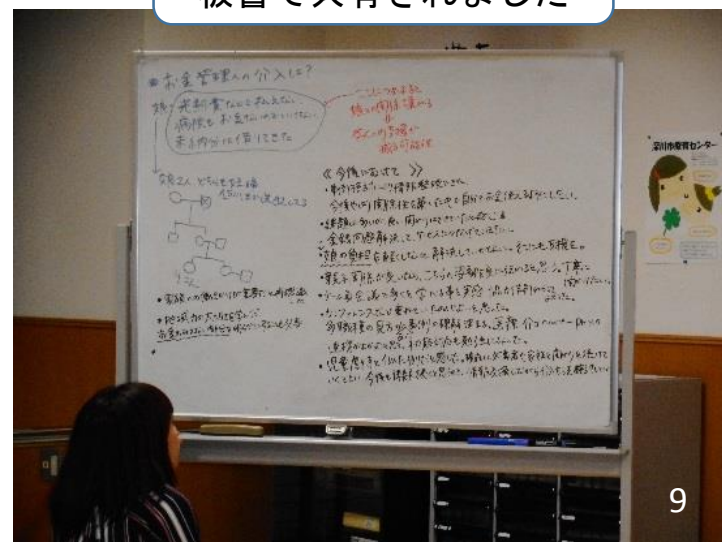
9月21日(金) 北竜町すこやかセンター 16:30~19:00

事例:北竜町の集中支援事例「家族の同意が得られずにサービス導入が進まなかったケース」

事例に係った地域包括、サポート医、看護師のチーム員のほか、ケアマネ、ヘルパーから報告があり、参加者が全員発言。様々な視点から事例を共有し、支援方法を検討しました。



参加者の発言は巧みな板書で共有されました



北空知では、認知症サポート医の養成確保(7名)、希望に応じて各市町の「集中支援チーム」へ市立病院の看護師を派遣する事業を広域実施

第2回 認知症初期集中支援事業事例検討会

2月8日(金) 深川市健康福祉センター 18:00~19:40

事例:「妻に対し暴力的行為があるアルツハイマー型認知症の方の家族支援」

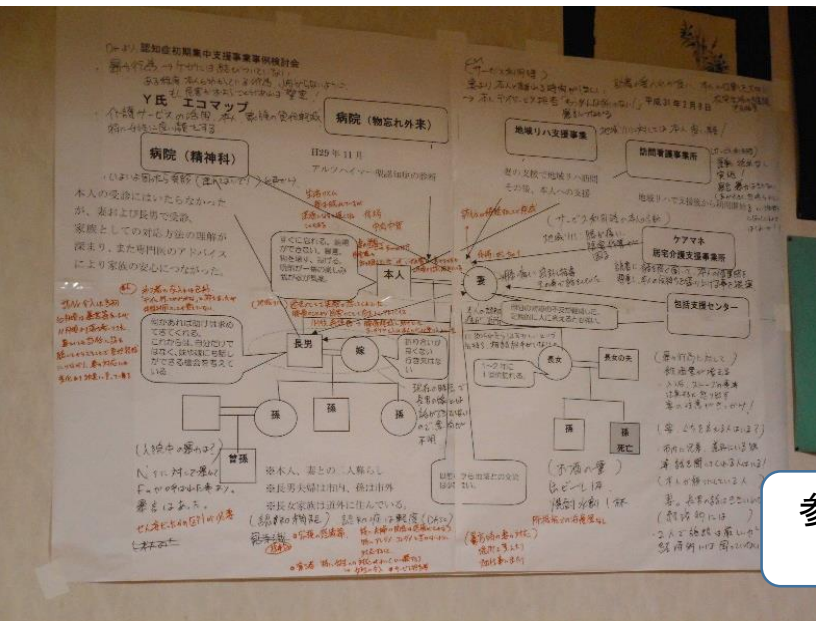


アドバイスする
サポート医の松本先生

事例に係ったケアマネ、地域リハ、
訪看の担当者からも報告、家族支
援について検討しました。



事例を紹介する
鎌塚さん



参加者の発言をエコマップ
やホワイトボードで共有



在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラムin妹背牛の開催報告

～ いずれはみんなに訪れる人生の最期 どう迎えたいですか？ どう送りたいですか？ ～

- ・日時 平成30年10月20日(土) 13:30～16:00
- ・場所 妹背牛町 わかち愛もせうしひろば (JA北いぶき妹背牛支所)
- ・参加者 97名 (妹背牛町63名、深川市20名、秩父別町2名、北竜町7名、沼田町2名、その他3名、うち一般63名、支援関係者34名)



講演「地域包括ケアシステム
の構築を目指して」
講師 北星学園大学教授
杉岡直人さん

北空知地域医療介護連携支援センター、
深川地域訪問看護ステーション
から取組紹介

支えあうコミュニティ

② 社会参加・予防・生活支援

- 「就労」という分かち合いの経済とボランティアで多世代が
つながるまちづくりへ
- =健康寿命延伸～元気高齢者(アクティブシニア)、
高齢者就労、認知症予防、リハビリ
- 地域包括ケアの深化・地域共生社会の実現
- =地域の支え合い、ボランティア、買い物、サロン、
安否確認、24時間365日の見守り体制

北空知地域の在宅医療・介護の取組紹介

住み慣れたまちで 安心して暮らすために

医療や介護が必要になっても
住み慣れた自宅や地域で
自分らしく暮らしたい。
～その想いをかなえるために支援を行います～



1市4町を巡回開催、
次年度は北竜町で開催

命の詩

- 命は神秘的で天命がある
- 今生きている時間 使い方はその人しだい
- 命は尊く限られたもの
- 自分から捨ててはいけない
他人から奪ってもいけないもの
- 命は生み育むもの 受け継いでいくもの
- 若く健康なときには永遠に続くと思いき
老いまたは病いの時は限りあるものとする
- 命 護り尊ぶ

地域包括ケアに携わる多職種合同研修会の開催報告

～ 「顔の見える関係」から「多職種協働」、そして「チーム北空知」へ ～

- ・平成30年10月31日(水) 18:00～21:30
- ・プラザホテル板倉
- ・参加者 研修会:121名 交流会:46名
- ・講師 阿部泰之さん(ケア・カフェジャパン代表)

看護職39名、介護支援専門員25名、保健師10名、ヘルパー10名、MSW・SW・相談員9名、事務職7名、リハビリ職6名、医師5名、薬剤師3名、歯科医師2名、管理栄養士1名、精神保健福祉士1名、歯科衛生士1名、その他2名



感想: 時間があっという間に過ぎて楽しかった、知りたい情報も得られ良かった

模造紙には何を書いても(描いても)OK いたずら書きも可



感想: 様々な職種の方の様々な話を聞いて、とても楽しかった

講演会とケア・カフェの違い



従来の講演会

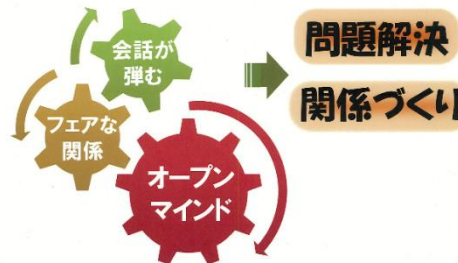
- ✓ 情報は講師が握っている
- ✓ 記憶に残らない
- ✓ 質問がしづらい
- ✓ 「今」困っていることは解決されない
- ✓ 会場の意見は反映されない
- ✓ 横の繋がりはできない

ケア・カフェ



- ✓ いろいろな情報が得られる
- ✓ 知識が身に付きやすい
- ✓ どんなことも聞ける
- ✓ 「今」困っていることが解決される
- ✓ 新たな発見が生まれる
- ✓ 顔の見える関係ができる

「カフェ」の効用



ケア☺カフェの進め方



北空知地域リハビリテーション活動支援事業

個別訪問



関係スタッフと居宅訪問し、自立支援に向け助言。

通所訪問



生活動作の再獲得、集団活動への助言。

地域ケア会議



事例検討、地域課題の発掘に向けリハ視点で参画。

担当者会議



心身・活動・参加に働きかけるケアマネジメントを協議。

地域予防事業



サロン・老人クラブ等にて介護予防への意識を高める。

スタッフ研修会



看護・介護職員等へリハ視点での介入方法を紹介。

○地域リハビリテーション活動支援事業実施件数

年度	深川市	妹背牛町	秩父別町	北竜町	沼田町	合計
平成28年度	71	30	36	43	29	209
平成29年度	104	43	73	44	43	307
平成30年度	95	44	70	62	35	306

市町名	年度	個別訪問	通所訪問	地域ケア会議等	サービス担当者会議	サロン・予防教室老人クラブ等	研修	その他	合計
深川市	H28年度	33	5	16		11	1	5	71
	H29年度	44	4	10	11	24	7	4	104
	H30年度	36	6	13	10	21	4	5	95
妹背牛町	H28年度	14	2	13		0	0	1	30
	H29年度	15	7	11	5	3	0	2	43
	H30年度	13	6	12	8	4	0	1	44
秩父別町	H28年度	14	0	4		6	1	11	36
	H29年度	34	0	2	29	1	2	5	73
	H30年度	29	0	11	25	1	1	3	70
北竜町	H28年度	14	6	16		0	1	6	43
	H29年度	18	7	1	15	2	0	1	44
	H30年度	21	14	1	21	2	2	1	62
沼田町	H28年度	9	4	8		7	1	0	29
	H29年度	11	7	3	0	8	7	7	43
	H30年度	17	1	1	3	9	1	3	35
合計	H28年度	84	17	57		24	4	23	209
	H29年度	122	25	27	60	38	16	19	307
	H30年度	116	27	38	67	37	8	13	306



沼田町: 個別訪問・サロン活動への助言件数が増加。



北竜町: 包括スタッフ・通所事業所スタッフとカンファレンス、研修会を定期開催。



秩父別町: 平成30年度より地域ケア会議へリハ職参画。個別訪問29件と介護予防強化を継続。



深川市: 市内通所事業所スタッフ向け合同研修会を初開催。



妹背牛町: 支援スタッフとの協議の場が増える。対象者の課題・目標・取り組みを共有へ。



地域リハビリテーション活動支援事業事例共有検討会の開催報告 (兼 北空知介護支援専門員連絡協議会 第3回スキルアップ研修会)

- ・日時 平成31年2月1日(金)18:00~19:40・場所 深川市健康福祉センター デ・アイ
- ・目的 地域リハビリテーション活動支援事業の3年間の取組内容と成果、
ケアマネージャーとしての地域リハビリテーション活用方法について学ぶ



司会進行はケアマネ連協の橋本さん

参加者: 29名(ケアマネ13名、保健師4名、リハ職8名、その他4名)



各卓にリハ職を1~2名配置

④ 3年間の取り組み状況

【スタッフ研修会】

【効果】

- ・看護・介護目標達成に向け、リハ視点での分析・介入方法を研修し、計画に加えチームとして取り組む。
- ・対象者の変化を感じる事で、他者への介入に波及することが期待される。
- ・実際の場面で研修することで、現場スタッフも参加しやすく、活かしやすい。

【課題】

- ・座学では、実際の取り組みにどう取り入れるかが難しい。
- ・研修を希望する所は少ない。

「スタッフ研修会の内容」

- 講義編
- ・基本動作の動作分析と介助方法 (深川)
 - ・高齢者の筋力トレーニング方法 (深川)
 - ・肩疾患の運動注意点と生活への助言 (深川)
 - ・腰痛/膝痛疾患の運動注意点と生活への助言 (深川)
- 事例編
- ・足痛を有する方への移動支援について (和風園)
 - ・食事動作へ有効な姿勢管理について (旭寿園)
 - ・四肢変形拘縮を有する方への姿勢管理介入を通して(旭寿園)
 - ・基本動作能力を高める方法 (秩父別)

- ・地域リハビリテーション活動支援事業を担当する深川市立病院の作業療法士から、平成28年度から始まった地域リハ3年間の取組の効果と課題について報告がなされました。
- ・地域リハの活動は普及してきたが、個別訪問が多いが通所事業所との協議が少ない、認知症のリハ活用が少ない、スタッフ研修が減少している、リハ職の活用や分野に市町差があるとの指摘や、
- ・サービスが入らない日や時間の活動のフォローをどうするかが課題だとの指摘がありました。

	年月日	会議・行事等	場所
1	平成30年04月10日	運営会議座長・事務局長等引継会議	市立病院
2	平成30年04月19日	秩父別町地域ケア会議	秩父別町
3	平成30年04月24日	深川市地域ケア会議	深川市
4	平成30年04月25日	正副座長・部会長等会議	市立病院
5	平成30年05月10日	認知症多職種連携セミナー	深川市
6	平成30年05月14日	第1回運営会議	市立病院
7	平成30年05月15日	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
8	平成30年05月22日	深川市地域ケア会議	深川市
9	平成30年05月23日	深川市認知症ケア研究会総会・研修会	深川市
10	平成30年05月24日	秩父別町地域ケア会議	秩父別町
11	平成30年05月25日	北空知介護支援専門員連絡協議会総会・研修会	深川市
12	平成30年06月15日	北空知地域医療介護確保推進協議会	市立病院
13	平成30年06月19日	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
14	平成30年06月21日	秩父別町地域ケア会議	秩父別町
15	平成30年06月28日	Ⅱ部会:退院調整・地域生活支援部会第1回会議	市立病院
16	平成30年06月29日	I部会:医療・介護情報共有支援部会第1回会議	市立病院
17	平成31年07月04日	Ⅲ部会:多職種連携・地域啓発部会第1回会議	市立病院
18	平成30年07月10日	I部会&Ⅱ部会合同事業調整会議	市立病院
19	平成30年07月17日	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
20	平成30年07月19日	秩父別町地域ケア会議	秩父別町
21	平成30年07月24日	Ⅱ部会認知症・アンケート小部会第1回会議	市立病院
22	平成30年07月24日	深川市地域ケア会議	深川市
23	平成30年07月30日	Ⅱ部会入退院支援研修企画小部会第1回会議	市立病院
24	平成30年08月01日	Ⅲ部会:多職種合同研修会企画小部会第1回会議	市立病院
25	平成30年08月02日	北空知圏域難病対策地域協議会「講演会」	深川市
26	平成30年08月06日	Ⅲ部会:地域リハビリテーション活動支援事業調整会議第1回会議	市立病院
27	平成30年08月20日	北空知介護支援専門員連絡協議会役員会(地域リハ事業)	深川市
28	平成30年08月21日	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
29	平成30年08月21日	深川市地域ケア会議	深川市
30	平成30年08月22日	Ⅲ部会:多職種合同研修会企画小部会第2回会議	市立病院
31	平成30年08月23日	秩父別町地域ケア会議	秩父別町
32	平成30年08月27日	Ⅲ部会地域啓発事業小部会第1回会議	市立病院
33	平成30年08月29日	Ⅱ部会入退院支援研修企画小部会第2回会議	市立病院
34	平成30年09月10日	Ⅱ部会入退院支援研修企画小部会第3回会議	市立病院
35	平成30年09月11日	深川市「2018年度メンタルヘルス講演会」	市立病院
36	平成30年09月18日	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
37	平成30年09月20日	秩父別町地域ケア会議	秩父別町
38	平成30年09月21日	第1回認知症初期集中支援事業事例共有検討会	北竜町
39	平成30年09月26日	Ⅱ部会入退院支援研修企画小部会第4回会議	市立病院
40	平成30年09月27日	北海道医師会地域医療を担う青少年育成事業講演会「地域医療を考える」	北竜町
41	平成30年09月27日	深川市地域ケア会議	深川市
42	平成30年09月28日	第1回北空知地域入退院支援研修会	市立病院
43	平成30年10月11日	Ⅱ部会入退院支援研修企画小部会第5回会議	市立病院
44	平成30年10月12日	北空知地域住民フォーラム打合せ	妹背牛町
45	平成30年10月16日	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
46	平成30年10月20日	在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラムin妹背牛	妹背牛町

平成30年度 北空知地域医療介護確保推進協議会 各種会議・行事一覧
(北空知地域医療介護連携支援センター参加事業)

47	平成30年10月23日	秩父別町地域ケア会議	秩父別町
48	平成30年10月24日	Ⅲ部会:多職種合同研修会企画小部会第3回会議	市立病院
49	平成30年10月30日	認知症初期集中支援チーム員会議	市立病院
50	平成30年10月31日	地域包括ケアに携わる多職種合同研修会	深川市
51	平成30年11月03日	深川市認知症ケア研究会第2回研修会	深川市
52	平成30年11月06日	深川市地域ケア会議	深川市
53	平成30年11月07日	Ⅱ部会入退院支援研修企画小部会第6回会議	市立病院
54	平成30年11月15日	秩父別町地域ケア会議	秩父別町
55	平成30年11月18日	妹背牛町民劇団第6回公演「子どもでもわかる介護劇」	妹背牛町
56	平成30年11月20日	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
57	平成30年11月26日	Ⅱ部会入退院支援研修企画小部会第7回会議	市立病院
58	平成30年11月27日	深川市地域ケア会議	深川市
59	平成30年11月30日	第2回北空知地域入退院支援研修会	市立病院
60	平成30年12月10日	Ⅲ部会:多職種合同研修会企画小部会第4回会議	市立病院
61	平成30年12月13日	Ⅲ部会地域啓発事業小部会第2回会議	市立病院
62	平成30年12月14日	北海道高齢者虐待防止推進研修会	旭川市
63	平成30年12月17日	沼田町地域ケア会議	沼田町
64	平成30年12月18日	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
65	平成30年12月19日	Ⅱ部会入退院支援研修企画小部会第8回会議	市立病院
66	平成30年12月20日	秩父別町地域ケア会議	秩父別町
67	平成31年01月08日	深川市地域ケア会議	深川市
68	平成31年01月15日	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
69	平成31年01月22日	深川市地域ケア会議	深川市
70	平成31年01月23日	第2回認知症初期集中支援事業事例共有検討会打ち合わせ	深川市
71	平成31年02月01日	北空知地域リハビリテーション活動支援事業事例共有検討会	深川市
72	平成31年02月06日	Ⅲ部会:多職種連携・地域啓発部会第2回会議	市立病院
73	平成31年02月08日	第2回認知症初期集中支援事業事例共有検討会	深川市
74	平成31年02月12日	Ⅱ部会:認知症・アンケート小部会第2回会議	市立病院
75	平成31年02月15日	北海道自治体病院協議会連携部会地域連携システム等推進会議	札幌市
76	平成31年02月18日	I部会:ICT活用情報共有ツールデモ説明会	市立病院
77	平成31年02月19日	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
78	平成31年02月21日	秩父別町地域ケア会議	秩父別町
79	平成31年02月21日	Ⅱ部会:退院調整・地域生活支援部会第2回会議	市立病院
80	平成31年02月23日	地域包括ケアシステム構築に向けた多職種合同研修	札幌市
81	平成31年02月26日	深川市地域ケア会議	深川市
82	平成31年03月04日	I部会:医療・介護情報共有支援部会第2回会議	市立病院
83	平成31年03月12日	Ⅲ部会:地域リハビリテーション活動支援事業調整会議第2回会議	市立病院
84	平成31年03月14日	秩父別町地域ケア会議	秩父別町
85	平成31年03月16日	「家」に帰りたい、暮らしたいを支える看護研修	札幌市
86	平成31年03月18日	Ⅲ部会:多職種合同研修会企画小部会第5回会議	市立病院
87	平成31年03月19日	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
88	平成31年03月19日	深川市地域ケア会議	深川市
89	平成31年03月22日	生活と医療を統合する継続看護マネジメント研修	札幌市
90	平成31年03月23日	入院・退院・在宅医療の切れ目のない支援の実践研修	札幌市
91	平成31年03月27日	第2回運営会議	市立病院

※このほか、北空知地域医療連携支援センターでは、旭川市や砂川市・滝川市の病院との連携を図るため、病院主催の研修会や連携のつどいなどに参加しています。